

令和7年第3回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和7年3月13日（木曜日） 午後1時42分から4時52分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也・高根小中学校校長 三芳雅彦・高麗川南公民館長 松本康彦
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第8号から15号

議題及び決定事項等

議案第8号 令和7年度日高市教育行政重点施策の決定について

【原案どおり可決】

議案第9号 日高市学校給食の実施に関する規則

【原案どおり可決】

議案第10号 日高市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則

【原案どおり可決】

議案第11号 学校医の任免について

【原案どおり可決】

議案第12号 日高市地域学校協働活動推進委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第13号 日高市文化財保護審査委員会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第14号 日高市社会教育委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第15号 日高市教育委員会職員の人事について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

- 教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
- その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。高根小中学校校長、高麗川南公民館長から小中一貫教育や地域学校行動活動についての進捗状況等の報告をした。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

- (委員) 義務教育学校における生徒指導上の諸課題はあるか。
- (高根小中学校校長) 小学校と中学校が一つになったことにより、余裕教室が減少した。一つのフロアに複数の学年を配置したことにより、他の学年に問題行動が移ってしまうことがあった。また、前期課程と後期課程が一緒になったことによるトラブルはなかった。むしろ、後期課程の生徒たちの表情が穏やかになったと感じている。
- (委員) 義務教育学校としての校内人事上課題はあるか。
- (高根小中学校校長) 特にはないが、しいて言えば、後期課程の教員が前期課程の授業を持つことによって、教材研究が増加したということがある。今後続けていけば負担感は軽減すると思っている。
- (委員) 前期課程の児童が詩の暗唱を行い、後期課程の生徒がそれを聞くという行事について、前期課程の児童は全員参加か。そうでない場合は何割くらい参加していたか。
- (高根小中学校校長) 希望者である。正確な参加人数は把握していないが、7割から8割は参加していた。
- (委員) 後期課程の聞き手の生徒はどのように選んだのか。
- (高根小中学校校長) 国語系の生徒が対応した。
- (委員) この行事を行ったことによる児童生徒のモチベーションの変化はあったか。
- (校長) 前期課程の児童に教えなければならないことから、後期課程の生徒が自ら事前勉強に取り組んでいた。
- (委員) こういった取り組みは増やしていったほうがよいと思う。特別支援学級の子どもはどのように参加させているのか。
- (高根小中学校校長) 同じように参加してもらっている。
- (委員) 発達障がいがあっても、良好なコミュニケーションを重ねていけば発達していく。そういったことも注視していてもらいたい。
- (委員) 不登校の子どもはどうしているのか。
- (高根小中学校校長) それぞれであるが、オンラインで授業に参加している子どももいれば、連絡がつきにくい家庭もある。
- (委員) 義務教育学校になり、絆が深まることによって、不登校の子どもが学校に入りづらくなるのか心配である。
- (高根小中学校校長) 義務教育学校になったことよりも、全学年が短学級になることの方がクラスに入りづらくなるのではないかと心配している。

- (委員) 前期課程に教科担任制を取り入れたことへの変化を感じているか。
- (高根小中学校校長) 学力の向上についてはまだわからないが、担任もクラスにいるため個別対応が行いやすくなった。
- (委員) 義務教育最後の集大成である高校受験が終わり、人生で最初と言ってもよい選択肢を乗り越えた姿を下級生が見える状況となっているか。
- (高根小中学校校長) 本校は第一志望の合格率が非常に高く昨年は全員が第一志望に行くことができている。そういった姿を見て、今年の学年でも負けないように頑張っている姿がうかがえた。
- (委員) 義務教育学校開校1年目という大変な中、試行錯誤しながら、とにかくやってみようという姿勢はよいことであると思う。38人の後期課程のクラスを2つに分けたとあったが、他の学年は何人なのか。
- (高根小中学校校長) 次に多い学年が31人である。教室の間取りを考えたときに、後期課程では6席×6席が限界に思えたため、2つに分けた。教員の負担は増えたが、子どもたちへの学習効果の方が高かったと思っている。
- (委員) 勉強するうえで少人数の方がよいと保護者は思っている。よいことだと思う。
- (委員) 男性教員が育児休業を取得することが増えていると聞いたが、クラス運営はどうなっているのか。
- (高根小中学校校長) 代員が配置されたり、他の教員同士が協力して授業を行ったりしている。加配がついても人が見つからないこともある。
- (教育長) 学校は育児休業、産後休暇の制度はしっかりしている。男性の取得も増えている。
- (委員) 子どもたちが企画、提案して実施する行事はよい取り組みであると思う。中学校を私立に行く子どもはどの程度か。義務教育学校になって増減はあったか。
- (高根小中学校校長) もともと私立に行く子どもは少ない学校であった。違いは感じていない。
- (委員) 高根小中学校で、英語の教員が育児休業を取得した際、英語の代員が見つからなかったため、国語の教員を代員として採用したとあったが、意味があるのか。国語の教員が余ってしまうのではないか。
- (教育長) 学級数は子ども数で決まる。その後、教科の配置を行う。それ以外に、特別支援学級やクラスの担任も行うこととなる。教員不足は問題である。
- (学校教育課長) 英語の教員の負担は増えるが、その他の学活や道徳といった負担を軽減させるなどの工夫をして行っている。
- (委員) 令和6年度学校自己評価システムシートについて、A評価をつけた教員と保護者との評価の乖離があり有意差が出ている。以前から言っているが、その問題を評価に入れてほしい。次回会議で伺いたい。
- (教育長) 学校にも指導しているが、教員がやったつもりになってしまっただけではよくない。こういう結果を真摯に受け止めなければならない。
- (委員) 新型コロナウイルス感染症はあまり減少していない。インフルエンザは減少してきている。逆に増えているのが胃腸炎である。この時期まで流行が続くことは稀である。感染力が強くアルコールが効かないので、塩素消毒で対応してもらいた

い。

(委員) 分館長会議を行っているが、地区によってはお祭りがなくなったり、地区の体育祭も縮小したりして、分館長としての役割が減少している。市ではどう考えているのか。

(教育部長) 分館長の役割は自治会によってさまざま、地区の体育祭だけを担当するところもあれば、いろいろな行事を分館長が中心で担当しているところもある。来年度、分館長のありかたについて、検討していくこととしている。

(委員) 西部館内教育長会議で話のあった県立げんきプラザの再編計画について、加須、神川を廃止し4か所を残すとあるが、どこが残るのか。

(教育部参事) 大滝、小川、名栗、長瀬の4か所である。

(委員) 市議会の一般質問で、オーガニック給食への取組の質問があったが、オーガニックという表現は曖昧で全く農薬を使っていないというわけではない。

(教育部長) オーガニック食材のみでの給食提供は考えていない。オーガニックだから安心安全には結びつかない。

(委員) 高校入試進路状況はいかがか。

(学校教育課副参事) 現時点で10人程度が進路未定となっており、引き続き進路を検討しているところである。

(委員) 今年度の県立高校の入試結果で定員割れしている学校が見受けられたが、そういったところは全員入学許可となるのか。

(学校教育課副参事) 基本的には入学許可となると聞いている。

(教育長) 県立高校の再編も進めているところである。

(委員) 私立高校の無償化が進めば、さらに県立の定員割れが進むことが想定される。

(委員) 進路未定の生徒はどういう状況でそうなったのか。学力以上の高校に挑戦してそうなったのか。

(学校教育課副参事) 学校で保護者、生徒と面談しているが、その時点の学力以上の県立学校に併願校なしで挑戦を希望する生徒もいたと聞いている。

(委員) 以前はそういったことはなく卒業式時点で全員の進路が決まっていたと思う。

(教育部参事) 以前は学校での進路指導が徹底しており、入試も早かった。

(委員) 今は保護者や生徒の希望を無理に止めなくなった。

(委員) いじめ問題等で養護教諭、ふれあい相談員、スクールカウンセラー等で対応とあるが、ふれあい相談員やスクールカウンセラーというのはどういった役割か。

(学校教育課副参事) ふれあい相談員は市の会計年度任用職員で全ての中・義務教育学校に配置しており、そのうち中学校に配置している相談員が週1日から2日小学校に行っている。スクールカウンセラーは県から配属されている職員で、隔週から週一日程度、学校に来ている。前者に資格はないが、後者は有資格者で専門性が高いものとなっている。

(委員) 埼玉県PTA連合会が日本PTA全国協議会から脱退したというニュースを見たが、日高市に関連があるのか。また、PTA活動について教員はどうとらえているか。

(教育部参事) 日高市はすでに埼玉県PTA連合会から脱退している。教員としては、学校でのPTA活動は重要なものであると感じている。

(教育長) 共働きの家庭が増加や価値観の多様化等により、役員の負担感が増している
るので、今後あり方の検討も必要であると思う。P T Aの役割自体は重要であると思
う。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第8号 【質疑なし】

議案第9号及び10号

(委員) 第4条に「学校給食の申込者」とあるが、定義がないので、定義付けをして
おいた方がよいのではないか。

(教育総務課長) 法規の担当に確認を行う。

(教育長) 追記の可能性があるので、承認いただくことでよいか。

議案第11号から15号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○4月定例会：4月24日(木曜日)午後1時40分から 委員了承

○5月定例会：5月22日(木曜日)午後1時40分から 委員了承